

# 2020年 冬（12月～2月）の天候経過

令和2年3月2日  
新潟地方气象台

## 1. 北陸地方の今冬（12月～2月）の特徴

### 【記録的な暖冬、少雨、多照、記録的な少雪】

今冬は強い寒気の南下は一時的で冬型の気圧配置が長続きせず、暖かい空気に覆われた。このため、北陸地方の全ての気象官署と特別地域気象観測所で冬の3か月平均気温が統計開始以来最も高くなった。北陸地方の3か月平均の気温は平年比+2.3℃となり、冬の平均気温として最も高くなった（統計開始は1946/47年冬）。また、雪の日も少なかったため北陸地方の3か月合計の降雪量は平年比7%となり、冬の降雪量として最も少なくなった（統計開始は1961/62年冬）。月別の記録では、1月の北陸地方の月平均気温は平年比+2.9℃となり、1946年の統計開始以来第1位の高温となった。また、1月の北陸地方の月降雪量は平年比0%となり、1961年の統計開始以来第1位の少雪となった。

気温は、12月、1月、2月はかなり高かった。3か月平均ではかなり高かった。

降水量は、12月は少なく、3か月合計では少なかった。

日照時間は、12月と2月は多かった。3か月合計では多かった。

降雪量は、12月、1月、2月はかなり少なかった。3か月合計ではかなり少なかった。

## 2. 3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級

北陸地方平均	12月	1月	2月	12～2月
平均気温平年差 階級	+1.4℃ かなり高い	+2.9℃ かなり高い	+2.3℃ かなり高い	+2.3℃ かなり高い
降水量平年比 階級	72% 少ない	93% 平年並	97% 平年並	85% 少ない
日照時間平年比 階級	118% 多い	101% 平年並	110% 多い	110% 多い
降雪量平年比 階級	3% かなり少ない	0% かなり少ない	18% かなり少ない	7% かなり少ない

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

## 3. 月別の天候経過

### (12月) 【強い寒気の南下はなく かなりの高温、少雨、多照、かなりの少雪】

上旬は期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れた日もあったが、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。中旬は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れた日もあった。下旬は高気圧に覆われて晴れ間の広がる日もあったが、気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。また、月降水量は少雨となった所が多く、新潟では月降水量の少ない方からの極値を更新した。

### (1月) 【暖かい空気に覆われた かなりの高温、かなりの少雪】

低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、冬型の気圧配置は一時的で雪の日は少なかった。また、寒気の南下が弱く、暖かい空気に覆われたため、月の気温は記録的に高く、降雪量も記録的に少なかった。北陸地方の全ての気象官署と特別地域気象観測所及びアメダス地点で1月の平均気温の高い方からの極値を更新した。

### (2月) 【強い寒気の南下は一時的 かなりの高温、多照、かなりの少雪】

上旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雨や雪の日が多く、寒気の影響で山沿いや山地で大雪となった所があった。中旬と下旬は一時的に寒気が南下したが、冬型の気圧配置は長続きしなかった。強い寒気の南下が一時的で暖かい空気に覆われたため、月の気温はかなり高く、金沢と相川では月平均気温の高い方からの極値を更新した。また、降雪量はかなり少なかった。

#### 4. 大気の流れから見た今冬の特徴（500hPa 高度合成図）

等高度線（実線）の間隔は60m、ハッチ域（陰影部）は平年より高度が低い部分（負偏差域）、白抜き域は平年より高度が高い部分（正偏差域）にそれぞれ対応している。

	<p><b>12～2月</b></p> <p>北極付近の高度は平年より低い一方、日本を含む中緯度帯の高度は高かった。また、偏西風は日本付近で北へ蛇行する流れとなっていた。このため、日本付近には、寒気が流れ込みにくく、暖かい空気に覆われやすかった。</p>
	<p><b>12月</b></p> <p>日本付近から日本の東海上を中心に平年に比べ高度が高い一方、インドシナ半島の北を中心に平年に比べ高度が低かった。これは、日本付近を流れる偏西風が日本付近から日本の東海上で北へ蛇行し、日本付近には南からの暖かく湿った空気が流れ込みやすかったことに対応している。一方、オホーツク海の北を中心に平年に比べ高度が低かった。これは、極渦が一時的に南下し、北海道を中心に寒気の影響を受ける時期があったことに対応している。</p>
	<p><b>1月</b></p> <p>北極付近が負偏差、中緯度帯は広く正偏差となり、北極振動が正のパターンで、寒気が北極付近に蓄積し、日本を含む中緯度帯に寒気が流れ込みにくいパターンとなった。また、日本付近を流れる偏西風は北へ蛇行し、全国的に暖かい空気に覆われやすかった。</p>
	<p><b>2月</b></p> <p>北極付近の高度は平年より低い一方、日本を含む中緯度帯の高度は高かった。また、偏西風は日本付近で北へ蛇行する流れとなっていた。このため、日本付近には、寒気が流れ込みにくく、暖かい空気に覆われやすかったが、ベーリング海で高度が低く、北日本では寒気の影響を受けた時期があった。</p>

## 5 参考資料

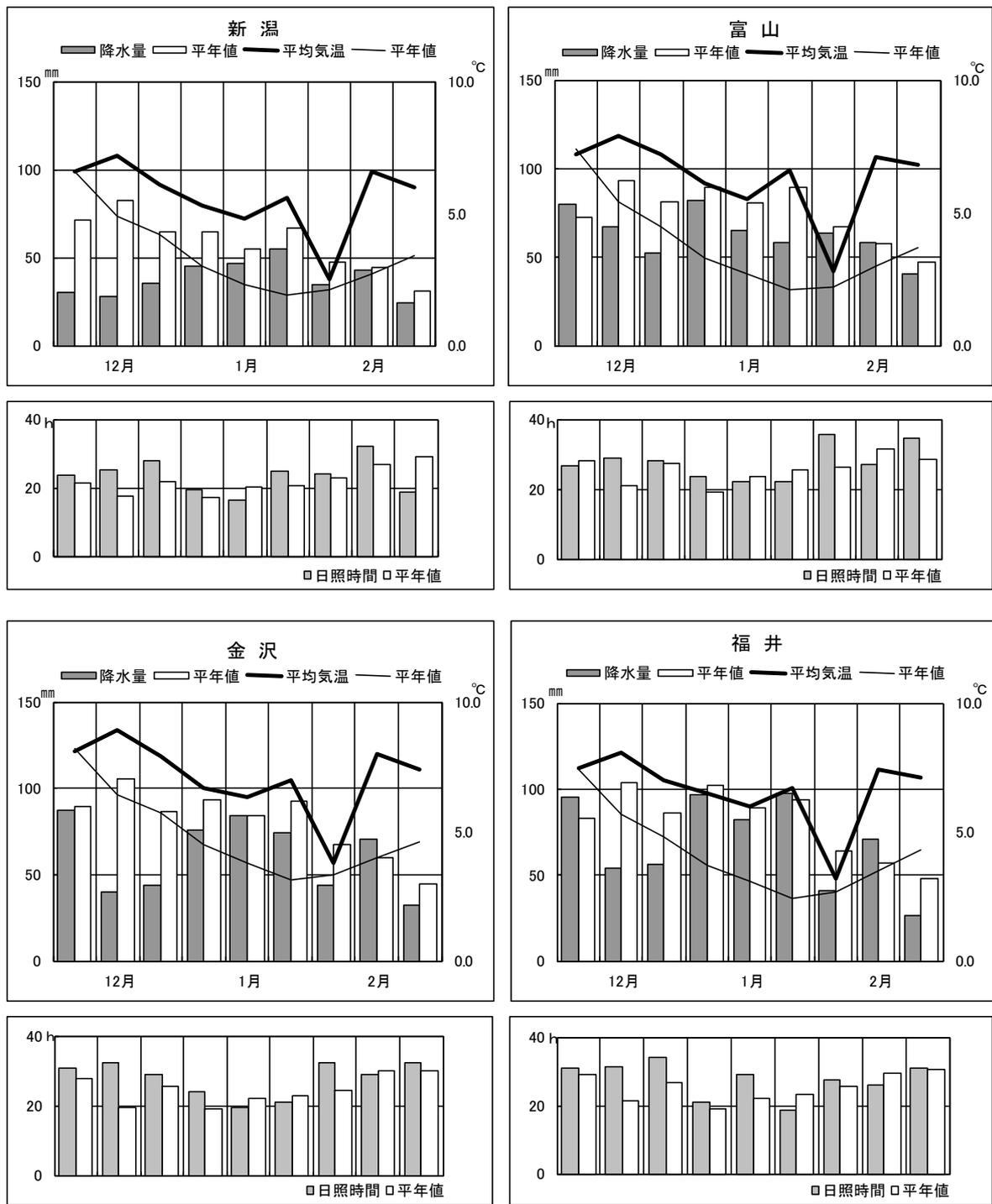


图 1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における12～2月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	12月		1月		2月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	6.6	+1.4 (+*)	5.2	+2.8 (+*)	5.0	+2.3 (+*)	5.6	+2.2 (+*)
高田	6.3	+1.0 (+)	5.3	+2.9 (+*)	4.7	+2.3 (+*)	5.4	+2.1 (+*)
相川	8.2	+1.3 (+*)	6.0	+2.1 (+*)	5.9	+2.1 (+*)	6.7	+1.9 (+*)
富山	7.4	+1.7 (+*)	6.1	+3.4 (+*)	5.5	+2.5 (+*)	6.3	+2.6 (+*)
伏木	7.3	+1.6 (+*)	6.0	+3.3 (+*)	5.4	+2.4 (+*)	6.2	+2.4 (+*)
金沢	8.3	+1.6 (+*)	6.7	+2.9 (+*)	6.3	+2.4 (+*)	7.1	+2.3 (+*)
輪島	7.2	+1.2 (+*)	5.6	+2.5 (+*)	5.2	+2.1 (+*)	6.0	+2.0 (+*)
福井	7.5	+1.6 (+*)	6.4	+3.4 (+*)	5.9	+2.5 (+*)	6.6	+2.5 (+*)
敦賀	8.9	+1.5 (+*)	7.7	+3.2 (+*)	7.1	+2.4 (+*)	7.9	+2.4 (+*)
北陸平均		+1.4 (+*)		+2.9 (+*)		+2.3 (+*)		+2.3 (+*)

降水量	12月		1月		2月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	94.0	43 (-*)	146.0	78 (-)	102.0	83 (O)	342.0	65 (-*)
高田	427.0	101 (O)	392.5	94 (O)	300.0	115 (+)	1119.5	101 (O)
相川	110.5)	74 (-)	126.5)	99 (O)	123.5	135 (+)	360.5	98 (O)
富山	198.5	80 (-)	205.0	79 (-)	162.0	94 (O)	565.5	83 (-)
伏木	141.0	53 (-*)	241.5	91 (O)	139.5	85 (O)	522.0	75 (-*)
金沢	171.0	61 (-*)	234.0	87 (-)	146.0	85 (O)	551.0	76 (-*)
輪島	194.5	77 (-)	248.5	117 (+)	171.0	121 (+)	614.0	101 (O)
福井	205.5	75 (-)	276.5	97 (O)	138.0	81 (-)	620.0	85 (-)
敦賀	228.0	81 (-)	254.0	94 (O)	127.0	76 (-)	609.0	84 (-)
北陸平均		72 (-)		93 (O)		97 (O)		85 (-)

日照時間	12月		1月		2月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	76.9	127 (+)	60.7	104 (O)	74.8	95 (O)	212.4	108 (+)
高田	84.1	105 (O)	63.1	96 (O)	96.7)	121 (+)	243.9	108 (+)
相川	69.1	129 (+)	47.8	96 (O)	75.7	111 (+)	192.6	112 (+)
富山	83.6	110 (+)	67.6	99 (O)	97.3	113 (+)	248.5	108 (+)
伏木	84.0)	120 (+)	63.3	104 (O)	96.9	120 (+)	244.2	116 (+)
金沢	92.0	127 (+)	64.3	101 (O)	93.8	112 (+)	250.1	114 (+)
輪島	58.5	113 (O)	46.0	106 (O)	70.5	109 (O)	175.0	110 (+)
福井	96.1)	125 (+)	68.8	107 (O)	84.6	99 (O)	249.5	111 (+)
敦賀	80.8	105 (+)	61.4	99 (O)	81.8	107 (O)	224.0	104 (O)
北陸平均		118 (+)		101 (O)		110 (+)		110 (+)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない), (O) : 平年並, (+) : 高い (多い)

(-\*) : かなり低い (かなり少ない), (+\*) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に「) や ]」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を気象台等に確認して、品質を確かめてください。

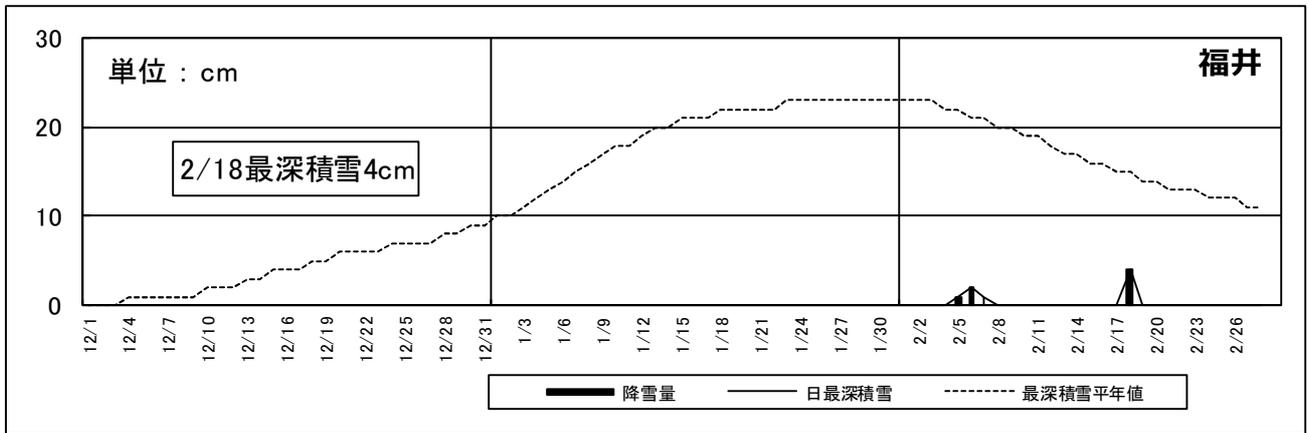
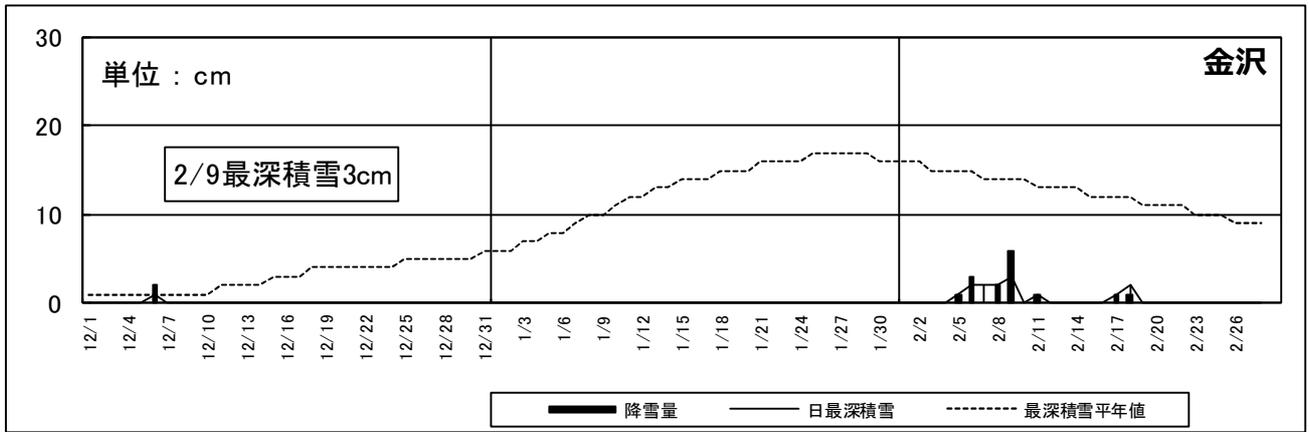
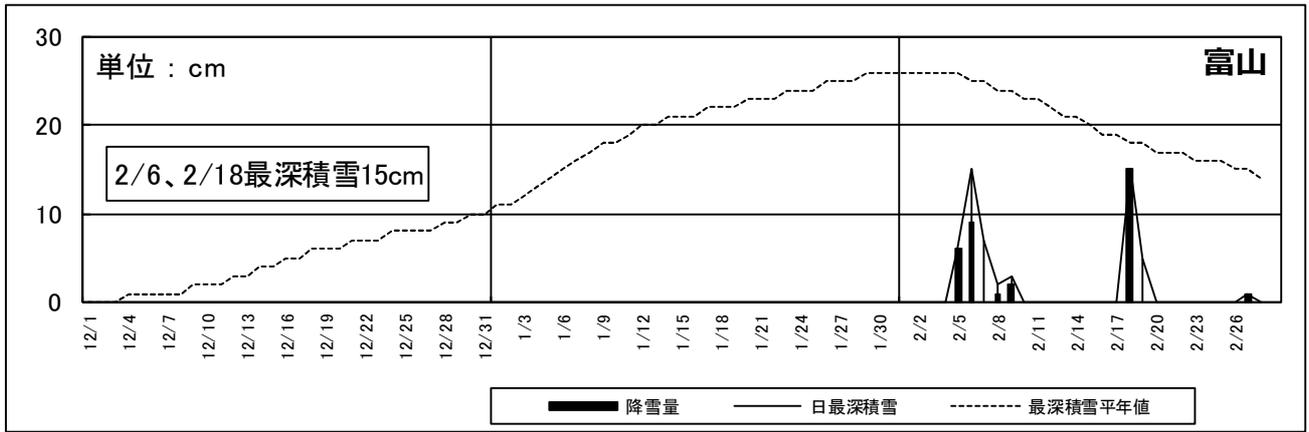
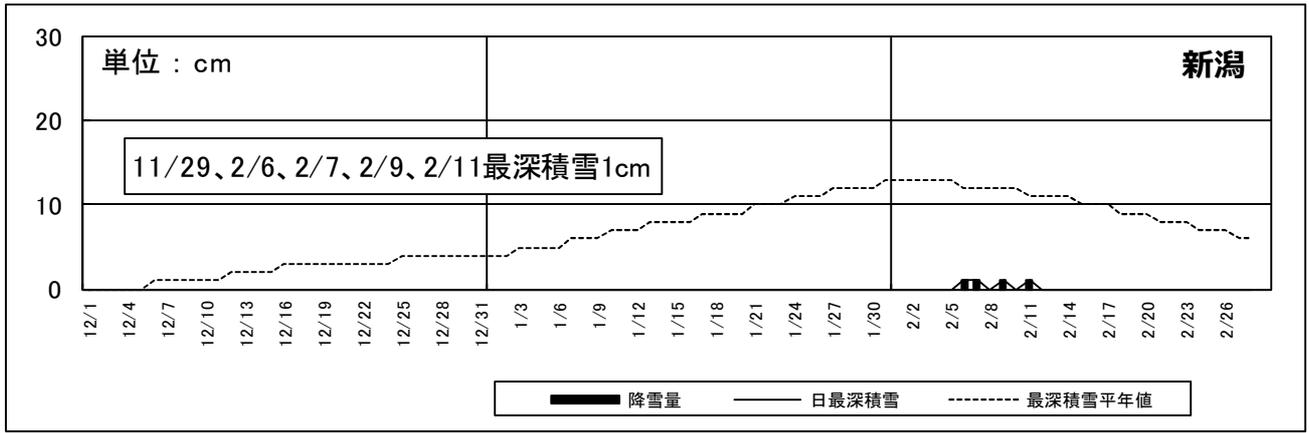


图2 日降雪量・日最深積雪時系列 (新潟・富山・金沢・福井)

表2 北陸地方における12～2月の冬日日数・真冬日・雪日数

	冬 日						真冬日		雪 日 数					
	12月		1月		2月		12～2月		12月		1月		2月	
	実況 値	平年 値												
新潟	2	5.1	3	16.6	8	15.4	0	1.4	8	13.3	11	22.9	15	20.2
高田	4	6.5	1	18.7	10	19.0	0	1.0	9	-	14	-	20	-
相川	0	2.2	0	9.4	4	10.8	0	0.7	11)	-	17	-	17	-
富山	0	4.8	1	15.6	6	16.5	0	1.2	3	12.5	4	24.0	12)	19.1
伏木	3	4.7	1	15.2	6	15.7	0	1.3	5	9.2	8	17.9	15)	15.3
金沢	0	2.1	1	9.9	5	10.9	0	0.3	3	13.7	6	23.0	13)	19.9
輪島	3	4.3	4	14.5	7	16.9	0	0.8	12	-	18	-	22	-
福井	2	3.5	2	12.8	5	14.6	0	0.3	2	13.0	5	24.2	12)	19.6
敦賀	0	1.1	0	6.8	3	6.7	0	0.0	3	-	2	-	13	-

※ 高田・相川・輪島・敦賀の雪日数平年値は、観測の自動化に伴う統計の切断により平年値がない。  
 ※ 冬日とは、日最低気温が0℃未満の日。真冬日とは、日最高気温が0℃未満の日。  
 ※ 富山・金沢・福井の2月の雪日数の平年値は2月3日に自動観測となったため、昨年の値から変更されています。

表3 北陸地方における12～2月の降雪量・最深積雪

降雪量	12月		1月		2月		12～2月	
	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級
新潟	-	0(-*)	-	0(-*)	4	5(-*)	4	2(-*)
高田	4	4(-*)	2	1(-*)	61	32(-)	67	12(-*)
相川	-	0(-*)	-	0(-*)	5	11(-*)	5	5(-*)
富山	-	0(-*)	-	0(-*)	34	27(-)	34	10(-*)
伏木	-	0(-*)	-	0(-*)	22	21(-*)	22	7(-*)
金沢	2	5(-*)	-	0(-*)	15	16(-*)	17	7(-*)
輪島	4	15(-*)	1	1(-*)	11	15(-*)	16	9(-*)
福井	-	0(-*)	-	0(-*)	7	8(-*)	7	3(-*)
敦賀	-	0(-*)	-	0(-*)	16	23(-*)	16	8(-*)
北陸平均		3(-*)		0(-*)		18(-*)		7(-*)

最深積雪	12月		1月		2月		12～2月	
	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級
新潟	-	0(-*)	0	0(-*)	1	4(-*)	1	3(-*)
高田	3	8(-*)	2	2(-*)	23	20(-*)	23	19(-*)
相川	-	0(-*)	-	0(-*)	2	15(-*)	2	11(-*)
富山	0	0(-*)	-	0(-*)	15	30(-)	15	24(-*)
伏木	-	0(-*)	-	0(-*)	10	24(-*)	10	17(-*)
金沢	1	7(-*)	-	0(-*)	3	10(-*)	3	7(-*)
輪島	2	25(-)	2	8(-*)	3	12(-*)	3	9(-*)
福井	-	0(-*)	-	0(-*)	4	10(-*)	4	7(-*)
敦賀	-	0(-*)	-	0(-*)	9	27(-)	9	18(-*)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。  
 注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。  
 (-) : 低い(少ない), (0) : 平年並, (+) : 高い(多い)  
 (-\*) : かなり低い(かなり少ない), (+\*) : かなり高い(かなり多い)  
 注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。  
 ) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。  
 このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

表4 北陸地方における12～2月の累年極値・順位（3位以内）更新

◎月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年比 ℃	これまでの最高（西暦年） ℃	統計開始 年	平年値 ℃
12	2	富山	7.4=	+1.7	7.7(1968)	1939	5.7
12	2	金沢	8.3=	+1.6	8.8(1890)	1882	6.7
12	3	相川	8.2=	+1.3	8.4(2008)	1911	6.9
1	1	新潟	5.2	+2.8	4.9(2007)	1882	2.4
1	1	高田	5.3	+2.9	4.7(1989)	1922	2.4
1	1	相川	6.0	+2.1	5.8(2007)	1912	3.9
1	1	富山	6.1	+3.4	5.0(1972)	1939	2.7
1	1	伏木	6.0	+3.3	5.4(1972)	1884	2.7
1	1	金沢	6.7	+2.9	5.9(1989)	1882	3.8
1	1	輪島	5.6	+2.5	5.3(1972)	1930	3.1
1	1	福井	6.4	+3.4	5.7(1989)	1897	3.0
1	1	敦賀	7.7	+3.2	7.0(1989)	1898	4.5
2	1	相川	5.9	+2.1	5.5(2007)	1912	3.8
2	1	金沢	6.3	+2.4	6.2(2007)	1882	3.9
2	2	輪島	5.2	+2.1	5.4(1990)	1930	3.1
2	2	福井	5.9=	+2.5	6.4(1990)	1897	3.4
2	3	新潟	5.0	+2.3	5.6(1990)	1882	2.7
2	3	富山	5.5=	+2.5	5.7(2007)	1939	3.0
2	3	敦賀	7.1=	+2.4	7.5(1990)	1898	4.7

注) =はタイ記録を示す。

◎月降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最少（西暦年） mm	統計開始 年	平年値 mm
12	1	新潟	94.0	43	97.5(1974)	1881	217.4
12	3	金沢	171.0	61	138.0(1974)	1882	282.1

◎3か月気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年比 ℃	これまでの最高（西暦年） ℃	統計開始 年	平年値 ℃
12-2	1	新潟	5.6	+2.2	5.4(2007)	1882	3.4
12-2	1	高田	5.4	+2.1	5.2(1949)	1923	3.3
12-2	1	相川	6.7	+2.9	6.3(2007)	1912	4.8
12-2	1	富山	6.3	+2.6	5.6(2007)	1940	3.7
12-2	1	伏木	6.2	+2.4	5.6(1979)	1884	3.8
12-2	1	金沢	7.1	+2.3	6.1(2007)	1883	4.8
12-2	1	輪島	6.0	+2.0	5.5(1949)	1930	4.0
12-2	1	福井	6.6	+2.5	5.9(1979)	1898	4.1
12-2	1	敦賀	7.9	+2.4	7.1(2007)	1898	5.5

◎3か月降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最少（西暦年） mm	統計開始 年	平年値 mm
12-2	1	新潟	342.0	65	349.0(1982)	1882	525.0

表5 初冠雪

山岳名	観測気象官署	今季	昨季	平年	これまでの最早
立山	富山地方気象台	10.22	10.21	10.8	1981.9.14
白山	金沢地方気象台	10.28	11.1	10.17	1913.9.1

表6 初霜・初氷・初雪

		初霜			初氷			初雪		
		今季	昨季	平年	今季	昨季	平年	今季	昨季	平年
新潟県	新潟	11.22	12.2	11.25	11.22	12.2	12.1	11.28	12.8	11.24
富山県	富山	11.22	12.2	11.20	12.1	12.10	11.27	12.6	12.8	12.2
石川県	金沢	11.29	12.2	12.1	12.1	12.16	12.9	12.6	12.8	11.29
福井県	福井	11.22	12.10	11.24	11.29	12.10	12.2	12.28	12.9	12.2

注) 初雪の平年の日には令和2年2月3日以前の値です。(富山・金沢・福井は目視観測通報の自動化により平年日の変更がありました。)

## 6. 天候情報発表状況

なし

(注) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。